

令和6年度事業の概要

令和6年5月23日

東日本大震災・原子力災害伝承館

■基本方針

- ・ 複合災害の正確な情報発信と風化の防止
- ・ 来館者に福島を経験を自分事として捉え、考えるきっかけとなる取組の継続
- ・ 伝承館として初となる海外での展示開催
- ・ 福島国際研究教育機構（F-REI）と連携し、関係大学との共同研究事業実施

1 資料収集、展示、語り部

(1) 資料の収集・保存

- ・ 避難地域内の資料収集…ふたばいんふお（3月閉館）など
- ・ 震災体験手記等の収集…長期的な視点で収集を継続

(2) 展示

- ・ QRコード等を使った多言語での展示物の説明の導入（年度内）

(3) 語り部事業

- ・ 語り部の技術向上と交流（研修会の開催）
- ・ 「ふくしま語り部ネットワーク会議」（県主催）の事業への参加

2 企画展、イベント

(1) 企画展

- ① 「放射線と福島」に関する展示（7月～11月予定）
- ② 「被災地の祭祀と文化の継承」に関する展示（12月～3月予定）
…常任研究員の研究成果や関係町村の協力を得て実施

(2) 出張展示

- ① フランスのモンベリアル市での展示（9月～2025年6月予定）
- ② 東京消防博物館での展示（時期未定）
- ③ ビッグパレットふくしまでの展示（日本泌尿器機能学会会場）（9/5～9/7）

(3) イベント

- ① 周年イベント（10月予定）
 - ・ F-BICC（双葉町産業交流センター）と合同で開催予定（福島県と連携）
- ② 3.11メモリアルイベント（3月）
 - ・ 複合災害の教訓を広域的に伝えるイベントを実施（福島県と連携）
- ③ その他イベント
 - ・ セタイベントや被災地バスツアー、実験教室等を実施

3 研修

(1) 一般研修プログラム

- ・関係団体と連携し継続実施
 - ・フィールドワーク：福島県観光物産交流協会
 - ・研修語り部：富岡町 3.11 を語る会

(2) 専門研修プログラム

①専門講座

- ・館長・上級研究員が専門分野の講義を実施（5月15日から申込受付）

②その他の研修

- ・中高生対象の研修、自治体職員対象の研修を実施予定

4 調査・研究

(1) 研究体制

- ・館長、上級研究員 3 名、客員研究員 24 名からなる研究班による研究活動を継続
- ・常任研究員 4 名が館長及び上級研究員の指導の下、各自設定したテーマで研究を継続

(2) 学術研究集会、研究活動報告会の開催

(3) 福島国際研究教育機構（F-REI）の公募事業（第5分野）の実施

- ①長崎大学、福島大学、福井大学との共同研究事業：1 事業
- ②東京大学との共同研究事業：2 事業

5 広報・誘客

(1) 広報活動

- ・積極的なプレスリリース、伝承館 HP・SNS による情報発信
- ・県内外の防災イベント・風評払拭イベントへの出展による PR
- ・県内外の震災伝承施設との連携による広報

(2) 誘客活動

- ・県内プロスポーツチームや J ヴィレッジ、アクアマリンふくしまとの連携継続
- ・モニターツアーの実施（福島県と連携）